

## 令和3年度後期研究報告会 ハイブリット開催

9月15日(水)、令和3年度前期研究報告会が、ハイブリット型(会場対面参加とオンライン参加の併用)にて開催されました。3名の研究員が半年間、深めてきた研究の成果を力強く報告しました。

### 【研究報告の内容】

① 松原 健 豊見城市立上田小学校	(小学校プログラミング 第5学年) 筋道を立てて考え、論理的思考力を高める児童の育成 ～第5学年算数科「合同な図形」におけるプログラミングの活用を通して～
② 大城 こずえ 南城市立馬天小学校	(小学校国語 第3学年) 伝え合う力を高めるための国語科の授業づくり ～「話すこと・聞くこと」の単元における、対話スキルを取り入れた指導の工夫～
③ 富岡 沙織 糸満市立三和中学校	(中学校国語 第1学年) 「正確に理解する資質・能力」を育む「読むこと」の指導 ～説明的な文章を「図式化」する学習活動を通して～



会場である南部総合福祉センター2階大会議室での対面と、Zoomによるオンラインと、合計38名の参加がありました。離島からのZoom参加もありました。参加者からは、以下のような感想が多く寄せられました。

長期研修の成果を還元し、学校教育の充実につなげる機会とすることができました。御参加、どうもありがとうございました。

### 【参加者の感想】

○理解する方法の一つのやり方として子供たちに提案ができるのがよかった。子供の理解、表現を高めるためのプログラミング、メモを取る、図式化するという手段の研究発表を聞き、大変参考になった。

○学校でオンライン学習が始まっているので、タブレットPCを活用した授業の在り方やプログラミングを活用した学習がとても参考になった。



会場対面参加の様子

○プログラミングは、言葉だけでとても難しく考えていたが、あくまでも『考え方』の1つだとわかり、算数だけでなく、様々な場面での活用ができると思った。



オンライン参加の様子

○文章の要旨を生徒が捉えるためにはどのように指導するべきか考えているところだったので、図式化という方法が印象的だった。正確に理解する資質・能力を育てられるように取り入れてみたい。

○現在『話す・聞く』の単元を授業しているので、特に、5分間ミニゲームや話すことスキルは、明日からの授業に取り入れていきたい。

○主体的な聞き手となるためのツールとして、メモの活用に焦点を当てたことは、3年生の発達段階において今後につながる学びだと思った。

○説明文を図式化する学習はとても面白いと思った。図式化する力が身につけば、説明的文章の構成や内容を理解する力も高まりそうだと感じ、小学校でもやってみてみたいと思った。

### 10月の主な予定

1	金	後期研究員入所 オリエンテーション 所内講座①「研究のすすめ方」 しののめ教室教育相談(～10/5)
5	火	後期入所式 後期指導講師委嘱状交付式 後期指導講師連絡会①
6	水	ヒアリング①「志望動機」
7	木	所内講座②「報告書の書き方」 しののめ教室スタッフ会議
8	金	ヒアリング②「テーマ・仮説・検証計画」
12	火	ヒアリング③「テーマ・仮説・検証計画」 所内講座③「学習指導要領」
13	水	所内講座④「プレゼンの技法」 離島出前講座(座間味幼) 協力員研究授業[特別活動](光洋小)
14	木	所外研修(県立図書館見学)
18	月	指導講師検討会①(～10/20)
21	木	しののめ教室スタッフ会議
22	金	室内検討会 しののめ教室合同体育
25	月	所内検討会①「テーマ・仮説・検証計画」
27	水	所長講話 I
28	木	幼児教育短期研修(発展②) Zoom しののめ教室調理実習
29	金	所内講座⑤「授業づくり・評価」

## 令和3年度前期修了式

研究報告会に引き続き、令和3年度前期修了式が、南部総合福祉センター2階大会議室にて挙行されました。第54期教育研究員3名が修了し、これまでに延べ、313名の教育研究員の



第54期教育研究員

皆さんが巣立っていきました。沖縄県教育庁島尻教育事務所長、南部広域行政組合教育委員会教育長、指導講師の先生方等、来賓の方々の激励を受け、緊張の中、教育研究員の皆さんは決意を新たにしました。



修了記念撮影